

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年7月21日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.31】

JR総連と革マルを結ぶ「坂入事件」を徹底検証！

組合関係者が過激派に拉致され自己批判させられる労働組合など、JR総連以外にはあり得ない。JR総連側は「坂入事件」を持ち出して彼らと革マル派との「対立」を強調するが、経過を検証するにつれ、「対立」は革マル派内部の問題であり、JR総連に革マル派が浸透しているとの確信はますます深まっていく。一般組合員までも巻き込んだ不可解な「坂入氏事件」について、紙面の都合上、核心部分に絞って検証したい。

JR総連は「革マル派活動家 浅野」が坂入氏を拉致した」と告発！

JR総連は、2000年11月16日、革マル派が坂入氏を拉致・監禁したとして、当時の小田委員長名で警察に告発状を提出した。なぜ革マル派が拉致したとわかるのか。革マル派関係者の氏名を明らかにする異常な告発状は、同派との関係を自白しているようなものだ。

告発状 (告発人 小田裕司 [注:JR総連委員長 (当時)]、被告発人 氏名不詳) 告発事実 [抄]

2. 坂入充さんは、平成12年11月3日午前9時頃、旧職場の仲間達と一泊の予定で奥多摩ハイキングに右自宅を出ました。ところがそれ以来、今日まで、手紙一通以外電話等を含めてなんらの連絡がありません。坂入充さんは、以下記載するような事実により政治党派革マル派構成員により連れ去られ電話一本もかけられない状態で、監禁されているものと推測されます。
- (1) 11月3日、午前10時35分頃、浅野です。旦那さんと討論させてもらおうと思って、いずれ本人からも連絡してもらいます」との電話が坂入さんの自宅へありました。浅野という人は革マル派の活動家のようです。
- (2) 坂入充さんは、心筋梗塞の持病を持っていて、薬をのんでいます。当日は2日分の薬しかもっていなかったようです。ところが、11月4日午後男、女の2人が坂入さんの自宅に「薬と印鑑を取り」にきました。男の方は、木下某という革マル派の大物活動家だそうです。
3. 坂入充さんが革マル派に拉致、監禁され、自己批判を強要されている原因は、
 - (2) 最近 JR総連加盟の JR九州労で発生した集団脱退を巡り、革マル派は、同派機関誌の「解放1642号(10月30日)」の紙上において「退職したJR総連のOBメンバー(南雲が)...」と誹謗中傷をおこなっていました。この(南雲)というのは坂入充さんのようです。なお、集団脱退に関連して10月9日午後2時半頃、JR九州労組合事務所に革マル派と思われる小西某、神保某、浅野某という3人が乱入し、暴行、窃盗を重ねました。このときの浅野某が、前述の電話の浅野と同一人物のようです。
 - (3) 11月11日、午前10時45分頃、JR総連加盟のJR九州労の組合書記、小西光子(11月10日に解雇通告)がJR九州労組合事務所に来て、このたびのJR九州労の大量脱退に関し、坂入さん本人が、大量脱退劇は、坂入さん、田岡さん、船戸さん、北さんで意思、決めたことであつた』と言っている」と述べています。11月11日現在、「坂入さん本人」から話しを聞けるのは、拉致した者かその仲間以外にはいないはず。
4. 以上の状況などをあわせ考えますと以前からJR総連への介入を阻止されている革マル派は、JR九州労の大量脱退という事態に坂入充さんが関与していたと思いこみ、同人を徹底追求していくためにこのたびの監禁という犯行に及んだものと判断されます。